

# 治水

発行 全国治水期成同盟会連合会

東京都千代田区平河町 2-7-5(砂防会館内)  
電話 03(3222)6663 FAX 03(3222)6664  
ホームページ <http://zensuiren.org/>  
お問い合わせ [zensuiren@k2.dion.ne.jp](mailto:zensuiren@k2.dion.ne.jp)  
編集・発行 植崎晃久



## 目 次

|              |                      |   |
|--------------|----------------------|---|
| 億首ダム竣工式…………… | 内閣府沖縄総合事務局北部ダム事務所 …… | 2 |
|--------------|----------------------|---|

# 億首ダム竣工式

内閣府沖縄総合事務局北部ダム事務所

## 1. はじめに

億首ダムは、沖縄東部河川総合開発事業の一環として、水道用専用の金武ダム（沖縄県企業局管理）を再開発する事業で、金武ダムの下流約 100 m の位置に建設された。億首ダムは、堤高 39 m、堤頂長 461.5 m、堤体積 33.9 万 m<sup>3</sup>、総貯水容量 856 万 m<sup>3</sup> の台形 CSG ダムで、洪水調節、既得用水及び河川維持流量の安定化、水道用水並びにかんがい用水の供給を目的とする多目的ダムである。（写真①）

## 2. 億首ダムの特徴

億首ダムは、我が国で初めてとなる台形 CSG ダム型式として、平成 14 年に国土交通大臣より認定されたダムである。CSG とは、セメントで固めた砂礫のこと（Cemented Sand and Gravel）で、ダムなどの構造物を造る材料の一つとして近年開発されたものである。CSG は、コンクリートほど材料強度を必要としないことから低強度材料の有効利用が可能となり、母材山の掘削量を大幅に減少できたことから、建設コストの縮減及び環境負荷の軽減を図ることができた。また、CSG は粒度調整・洗浄を行うことなく簡易な設備、汎用機械で施工できるため、施工の簡略化が図られ、同規模の重力式コンクリートダムと比較して約 2 倍の速さで打設を完了することができた。

また、億首ダムの非常用洪水吐については、台形 CSG ダムの天端幅が広く取れる特徴を活かして、ラビリンス堰を採用している。ラビリンス堰は、越流面形状をジグザグにすることで、実質的な越流頂長を長くし、水路単位幅当たりの越流量を大きくするものである。水理模型実験では、ラビリンス堰と同一幅の円弧付台形堰の越流量を比較しており、約 1.7 倍の流量を放流できることが確認されている。ラビリンス堰を採用したことにより、洪水吐の門数を減らすことが可能となった。

## 3. 竣工式

内閣府沖縄総合事務局北部ダム事務所が沖縄県

金武町の億首川へ建設を進めていた億首ダムが完成し、平成 26 年 2 月 1 日に竣工式を執り行った。竣工式は、同ダムの多目的広場で行われ、関係者約 230 名が出席した。

式典は、河合正保沖縄総合事務局長の式辞で始まり、山本一太内閣府特命担当大臣の挨拶（代読）、太田昭宏国土交通大臣の挨拶（代読）に続いて、北牧正之北部ダム事務所長の事業経過報告があった。そして、仲井眞弘多沖縄県知事の祝辞（代読）に続いて、儀武剛金武町長から祝辞をいただいた。引き続き、感謝状贈呈、さらに、ダム湖名などの命名者表彰が行われ、ダム湖は、金武町を代表するダムとして知名度が高くなる期待を込めて「金武ダム湖」と命名された。その後、記念植樹、くす玉開披が行われ、最後に万歳三唱を行い、全員で億首ダムの竣工を祝った。

## 4. おわりに

億首ダムが完成したことにより、億首川沿川の安全が確保され、県民の水がめとしての機能も発揮されるとともに、自然環境の保全、琉球王朝時代の土木遺産“宿道”の再現など金武町の自然・歴史を学ぶことができる魅力あふれるダムとなった。地域の方々には、さまざまな用途としてダムを活用していただき、億首ダムが地域の活性化につながっていくことを期待する。

